

## 浜岡原子力発電所2号機 タービン建屋における火災の原因調査状況について

2016年1月19日

2016年1月7日に廃止措置中の浜岡原子力発電所2号機タービン建屋3階(放射線管理区域内)で発生した火災(2016年1月7日公表済み)について、原因調査の状況をお知らせします。

### 調査状況

火災の発生を確認したタービン建屋排気ファンのプーリ側軸受部の分解点検をおこなった結果、軸受が損傷していることを確認しました。

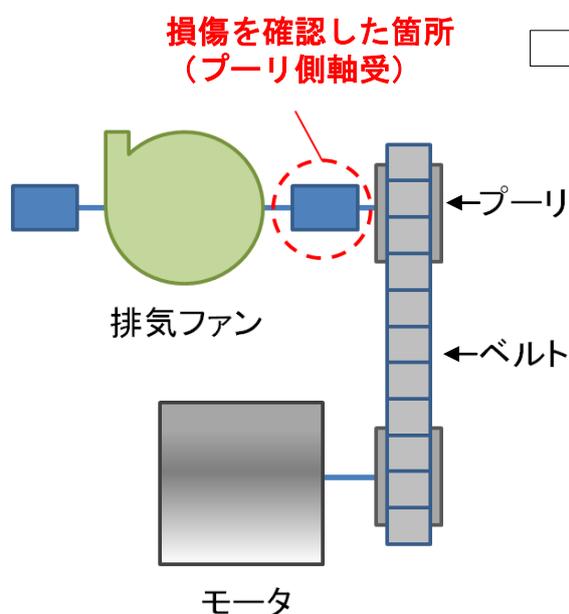
また、当該軸受の温度データの履歴を確認した結果、1月1日から徐々に温度が上昇する傾向にあったことを確認しました。

なお、同型のタービン建屋排気ファンは当該機の他に2台あり、これらの運転状態、軸受温度には異常がないことを確認しております。

### 今後の予定

軸受に何らかの異常が発生し、その状態で回転することにより軸受温度が上昇し、軸受内のグリスが高温になり発火したこと等が考えられます。

そのため、軸受が損傷した要因等について詳細な点検・調査をおこないます。1月末を目途に火災発生の原因を推定し、再発防止対策をとりまとめ、あらためてお知らせします。



分解点検で確認した損傷状態の軸受



(参考) 正常な軸受の状態

以上